発問例

●二九九ページ

問 **意味段落１から３の体験を時系列に並べると、筆者の「歴史」に対する考え方のどのような変化が分かるか。**

答 「学校で受けた歴史教育」をとおして「おもしろそうなものは、いつも過去にある」と考えていた「わたし」だったが（意味段落２）、「ビートルズの新曲」がラジオで放送される「歴史的瞬間」に立ち会ったことで、「歴史」とは自分自身が参加し作られるものであるという、それまでの「歴史」のとらえ方を揺さぶる経験を持つ（意味段落１）。さらに「半世紀以上」の読書体験をとおして、「過去」の小説が「文学史」に書いてあるような「評判」とは「えらく違う」ことに気づき、自分で「文学史」を書いてみようと考えるにいたる（意味段落３）。

補 本教材の構成を考えるうえで、意味段落１と意味段落２の時系列が逆になっている点に注意を払いたい。意味段落１での「感動」が意味段落３での自分で「文学史」を書くという発想につながっていく。全体のまとめとして発問することがのぞましい。

●三〇〇ページ

問 **◉「感動」（14 行目）とは、どのような感動か。**

答 「歴史的瞬間」に立ち会えたことによる感動。補この内実を後の部分で読み解いていく。それまで筆者は、「歴史」は、遠い過去の死んでしまったできごとで、生きている自分とは関係がないと思っていたが、自分が参加しながら作られていくものだと気がついた。ビートルズの新曲そのものだけでなく、そのことに感動している。

●三〇一ページ

問 **◉自分のことを「すごく単純」（３行目）というのは、なぜか。**

答 学校で受けた教育について、自分で考えることなく、そのまま鵜呑みにしていたから。

語句の研究

●三〇〇ページ

３偉大な人たち　ビートルズを指す。形式段落２以降で、「偉大なもの、立派なもの、おもしろいもの」は「いつも過去にある」と考えていたと語られるそれ以前の「わたし」の変化として位置づけられる。

●三〇一ページ

１立ち会った　「立ち会う」とは物事の成り行きや結果を見守るためにその場にいることを意味する。その意味で、いつも過去にあるはずの「歴史」に「現在」の「わたし」が触れ得た、その実感に「わたし」は「感動」を覚えたということになる。

キー・ポイント　**「歴史」**　過去の人間生活に起こった事象の変遷・発展の経過を、ある観点から秩序づけた記述を指す。「歴史」とはありのままの事実ではなく、あくまでも「歴史」を作る特定の観点・地点を基点とする枠組みであるという点に注意したい。